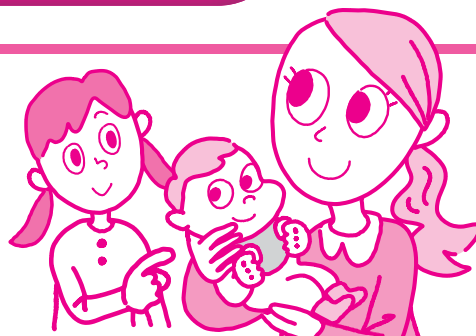


# 子ども・障がい者の医療費を **窓口無料** に!

法改正などにより患者の自己負担は増える一方です。この不況下で家庭での医療費負担が重くのしかかっています。「お財布の中身を心配することなく医療を受けたい」—はみんなの願いです。



現在、長野県の福祉医療制度では、**いったん窓口で医療費を支払い、2~3カ月後に1レセプトあたり500円\***を差し引かれた額が口座振込みされるようになっていきます。(自動給付方式)

※1か月にかけた医療機関・薬局それぞれに500円の受給者負担金があります。この受給者負担金は2009年9月までは300円でしたが、県の方針により500円へ引き上げられました。

子ども医療費では、すでに**全国37の都府県**で窓口無料(現物給付)が実施されています!

障がい者医療費では、すでに**全国30都道府県**で窓口無料(現物給付)が実施されています!

※対象者や所得制限、自己負担額など都道府県ごと違います。

群馬県では子ども医療費の**窓口負担も自己負担もありません。**(中学卒業まで)

## なぜ長野県では窓口無料化ができないの?

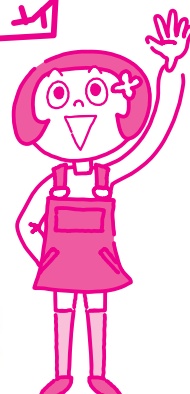
### 第1の壁

医療費の窓口無料化(現物給付方式)すると、ペナルティとして国の補助金が減らされることです。(国民健康保険療養費等国庫補助金の減額措置)したがって、その分、県と市町村の負担が増えることとなります。

### 第2の壁

これが最大の壁。長野県知事はじめ当局は、財政負担問題を理由に、県民の「いのち」を優先する施策を実行していく確固たる姿勢が希薄であることです。

「長野県でも医療費窓口無料化を!」の切実な願いを多くの県民に理解していただくことにより、第2の壁(長野県当局の姿勢)を崩すことができます。また、長野県で窓口無料化が実現すれば、さらに多くの都道府県が国に対しペナルティー撤廃を迫り、第1の壁も取り払われます。そして、国の施策として、子どもや障がい者の医療費窓口無料化へと道が拓かれます。



## 安心して暮らせる長野県にするために!!

「福祉医療費の窓口無料化を求める要請書」への署名にご協力をお願いします!!